

観光立国の実現は、地方(地域)から

難局乗り切れ

出席者
(順不同)

JTB社長 田川 博己氏
近畿日本ツーリスト社長 吉川 勝久氏
日本旅行社長 丸尾 和明氏
トップツアー社長 石川 邦大氏

司会—本社社長・江口恒明

未曾有の震災にどう立ち向かう

国内旅行復活へ業界挙げて邁進

新しい年、2012年が明けた。未曾有の震災から間もなく10カ月。被災地はもとより、全国の多くの観光・温泉地も風評による客足の減少でお層蘇蘇分に浮かれていた。国内旅行をプロデュースする旅行会社も然り。今年1年、どう巻き返しを図るのか。JTB、近畿日本ツーリスト(KNT)、日本旅行、トップツアーの大手4社の社長にお集まりいただき、語ってもらった。

【東京・紀尾井町の「福田家」で】

「3・11」その時トップは

——(司会)2011年は、未曾有の大震災に原発事故、台風1号の発生と、国内旅行にかなりのダメージがあった。実感としてどうとらえているか。

田川 博己さん、共通項があると思うが、3・11の直後は、本気でどうなるかという不安が強い。ただ、先月、岩手県二戸市でエコツーリズムの大会があり、そこに地元酒蔵の南部美人の久慈さんという若い専務さんがいらしていた。彼が3月下旬、ユージュニアに「花見をやめるのをやめてほしい」「東北の酒を飲んでほしい」とメッセージを出したら、マスコミが大きく取り上げ、東京でも東北の酒をたくさん飲むようになった。居酒屋から東北の酒がなくなるほどになった。



丸尾氏

経営会議で即決実行

対策本部で初動対応

——その3月11日、皆さんはどこで何をしていたか。

田川 旅行営業戦略会議という、当社の旅行事業の最も重要な会議をグループ本社



田川氏

の20階でやっていた。地震が起きた午後2時46分は、グループ各社の社長が次年度の事業計画を発表していたときだった。会議用の大きなテレビモニターがあり、普通、人の力では動かさないのだが、こ

れが動いてしまうほど大きく揺れた。しばらくして外を見れば、お台場から煙が上がり、遠くの方からは火の手が上がっていた。

はじめは相模湾か東海沖が震源地で、宮城県沖が震源地とは思わなかった。なかなか揺れが止まらず、階下に向けてテレビをつけたら、状況が段々ひどくなっている。これはほんでもないことになった。と思った。

——まず、行ったことは。

田川 地震対策本部をすぐ設置した。ツアー参加中のお客さまとして社員の安全、自社の被災状況の確認など対応を開始した。月曜からは毎日早朝に臨時経営会議を開き、情報の共有と必要な案件は即決、実行できる体制をとることにした。東北と全く連絡がつかず、JTB東北の本社機能が機能しないのではな

いかにと思い、東北の本社機能を東京にも設置することに決めた。チーム東北という組織を作った。多くの東北の店舗が閉鎖状態にあつたため、グループ本社に東北のお客さま専用のコールセンターを作り、他の旅行事業会社の社員を集めた。また、東北の主要新聞に告知した。

——かなりの被害が想定されたのでは。

田川 とにかく情報が少なかった。

丸尾 うちの社員と家族の安否確認もかなりかかった。

田川 3月11の時は、石川社長も一緒だった。3時からJATAの役員会があった。自分からはじめ気がなかったが、運転手が「地震です」と。そして、外を見た。建設現場のクレーンがフランクのように揺れていた。

石川 3時から会議が始まったのだが、会社に電話をかけた瞬間、中座した。下のフロアのテレビがついていて、「これはすごいことになった。会議を中止しなさい」と。

吉川 石川社長が「やめ

水と生きる SUNTORY

The PREMIUM MALT'S

ザ・プレミアム・モルツ

ザ・プレミアム モルツ生ビール

このうまさ、ザ・プレミアム。

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒はなによりも適量です。のんだあとはリサイクル。

http://suntory.jp/PREMIUM/ サントリー酒類株式会社